

名古屋の住宅・土地

～平成 20 年住宅・土地統計調査結果～

(要約)

	頁
利用上の注意及び用語の解説.....	(2)
I 住宅・世帯の概況	
1 住宅数と世帯数 — 総住宅数の増減率は昭和 23 年以降で最少.....	(14)
2 居住世帯の有無 — 空き家率は 13.2%と平成 5 年以來の低下.....	(15)
II 住宅の状況	
1 住宅の建て方 — 共同住宅の割合が上昇、うち 11 階以上が住宅全体の 1 割に.....	(16)
2 建物の構造 — 非木造住宅が全体の 7 割弱を占め、一戸建では非木造が 2 割弱.....	(17)
3 建築の時期 — 昭和 55 年以前に建築された住宅は全体の約 3 割に.....	(18)
4 住宅の所有の関係 — 持ち家率は 45.7%と前回をやや上回る.....	(19)
5 持ち家の取得方法 — 新築住宅を購入した割合は半数を下回る.....	(20)
6 専用住宅の借家の家賃・間代 — 1 か月当たりの平均家賃・間代は 54,761 円.....	(20)
7 住宅の規模 — 1 住宅当たりの居住室が前回より減少.....	(21)
8 一戸建・長屋建住宅の敷地 — 1 住宅当たりの持ち家の敷地面積は借家の 2 倍強.....	(22)
9 設備	
(1) 耐震診断 — 建築基準法の旧耐震基準で建てられた持ち家のうち診断を受けたのは 12.8%のみ.....	(23)
(2) 耐震改修工事 — 持ち家で耐震改修工事をしているのは全体の 3.9%のみ.....	(23)
(3) 自動火災感知設備 — 設置している住宅数は、全体の約 7 割まで大幅に増加.....	(24)
(4) オートロック式の共同住宅 — 普通世帯のうち約 2 割がオートロック式の共同住宅に住む.....	(24)
(5) エレベーター及びその防犯設備 — 非木造の共同住宅のエレベーターの 4 分の 3 に防犯設備あり.....	(25)
(6) 高齢者等のための設備 — 平成 18 年以降建築の住宅は各比率とも 13～17 年建築の住宅を下回る.....	(26)
(7) 高齢者等のための設備工事 — 平成 16 年以降、9.4%の主世帯で設備工事.....	(26)
(8) 省エネルギー設備 — 「太陽熱温水器」より「太陽光発電機」を選択する傾向がみられる.....	(27)
(9) リフォーム工事 — 持ち家全体の 4 分の 1 以上がリフォーム工事をしている.....	(27)
(10) 増改築 — 持ち家全体の 4 分の 1 強が、平成 16 年以降に増改築をしている.....	(28)
(11) 腐朽・破損の有無 — 昭和 55 年以前の住宅では腐朽・破損の割合が 2 桁台.....	(28)
III 世帯の居住状況	
1 家計を主に支える者の年齢 — 60 歳以上の約 3 分の 2 が持ち家の世帯主.....	(29)
2 主世帯の年間収入 — 全ての収入階級で持ち家率が上昇.....	(29)
3 最寄りの生活関連施設までの距離 — 医療機関、公園まで 250m 未満が 5 割弱.....	(30)
IV 居住水準の状況	
1 最低居住面積水準 — 最低居住面積水準以上の世帯は 85.8%.....	(32)
2 誘導居住面積水準 — 誘導居住面積水準以上の世帯は 48.6%.....	(32)
V 高齢者のいる世帯	
1 世帯数 — 高齢単身世帯の割合は前回より 0.7 ポイント上昇.....	(33)
2 住宅の所有の関係 — 約 7 割が持ち家に居住.....	(33)
3 設備 — 高齢者のいる世帯の約半数が手すりを設置.....	(34)
4 子の居住地 — 片道 15 分以上 1 時間未満の場所に住んでいる割合が最も高い.....	(34)
VI 住宅・土地所有の状況	
1 住宅・土地所有の概況 — 現住居の敷地以外の土地所有率は 14.5%に上昇.....	(35)
2 家計を支える者の年齢 — 40 代を境に現住居、現住居の敷地の各所有率が高くなる.....	(36)
3 世帯の年間収入 — 年収 700 万円以上の世帯では現住居、現住居の敷地の各所有率が半数以上.....	(36)
4 現住居以外の住宅 — 貸家の利用の割合が低下し、親族居住用の割合が上昇.....	(37)
5 現住居の敷地以外の宅地など — 約半数が相続・贈与で取得.....	(37)
VII 区別の状況	
1 住宅数と世帯数 — 増減率トップは中区、市の東部 4 区は 1 桁台の増減率にとどまる.....	(38)
2 居住世帯の有無 — 空き家数、空き家率とも中村区がトップ.....	(39)
3 住宅の所有の関係、建て方、構造 — 持ち家・一戸建の割合が高い緑区、守山区、南区.....	(40)
4 建築の時期 — 18 年以降建築の住宅の割合が高い中区、東区.....	(41)
5 1 住宅当たりの規模 — 緑区、守山区の順に大きく、中区、東区の順に小さい.....	(42)
6 オートロック式の共同住宅に住む普通世帯数 — 中区では全体の約半数.....	(42)
VIII 全国・18 大都市の状況	
1 住宅数と世帯数、居住世帯の有無 — 空き家率トップは大阪市の 16.7%.....	(43)
2 住宅の所有の関係、建て方 — 持ち家率トップは新潟市の 65.8%.....	(44)
3 建物の構造、1 住宅当たりの規模 — 本市の非木造の割合は 18 大都市中 3 番目に高い.....	(45)
4 高齢者等のための設備状況 — 設備ありの総数の割合では本市は全国平均よりやや低め.....	(46)
5 オートロック式の共同住宅に住む普通世帯数 — 福岡市は普通世帯総数の約 35%.....	(47)
6 世帯の年間収入階級別持ち家割合 — 11 都市で年収 500 万円未満が過半数を超える.....	(48)